

公益社団法人 日本天文学会 理事会議事録

日 時：2022年3月2日（水）16時30分～18時00分

場 所：広島大学・呉工業高等専門学校（オンライン開催）

出席理事：山本、太田、久保田、町田、鈴木、酒向、鹿野、古澤、富田、米原、深沢、西、北本、馬場、山村

出席監事：花岡

欠席理事：長瀧、江草、生田

欠席監事：奥村

また、佐藤事務長、黒岩事務長補佐、田口谷事務長補佐が出席した。

I. 確認事項など

I-1. 議事に先立ち、出席者が15名で定足数を満たし、本会が成立することが確認された。

I-2. 前回議事録の確認

資料2に基づき、前回（2021年12月25日）の理事会議事録が報告され、承認された。

II. 議題

II-1. 新規加入者および移籍（準 → 正）の承認（資料3、鈴木）

2021年12月22日～2022年2月22日までに正会員入会申請9名（うち1名は2022年度から）、準会員入会申請4名（うち1名は2022年度から）、移籍（準 → 正）14名（全員2022年度から）の申請があり、賛成多数で承認された。

II-2. PASJ 編集委員の増員について（資料4、町田）

今後も継続して多くの論文投稿が見込まれる電波分野を担当する編集委員として、新たに亀野誠二氏（国立天文台）が推薦され、2022年4月1日付での編集委員就任が、賛成多数で承認された。

II-3. 2022年度会費免除について（資料5、酒向）

COVID-19の蔓延継続を踏まえ、前年度より引き続き経済的に困窮する正会員（学生）の2022年度会費免除の継続が提案された。但し、ポストCOVID-19時代を見据え、(i)正会員（一般）の研究活動に困難が生じているポストクの会費免除は2021年度にて終了すること、(ii)正会員（学生）においても、給付型奨学金を受給しているものは免除資格者とならないことが付加された。提案説明の文言を微修正することを条件とし、賛成多数で承認された。

II-4. 名簿発行の中止について（資料6、町田）

個人情報保護の観点と、会員名簿作成にともなう印刷費及び郵送費200万円以上の抑制のため、2022年度以降の名簿の発行を当面中止することが提案され、賛成多数で承認された。

II-5. 代議員総会議事運営申し合わせについて（資料7、山本）

継続審議されている、代議員総会議事運営申し合わせの修正案が提示された。前回の提案からの修正点は、(i)動議の取り扱い (ii)委任先の明確化 (iii)特別決議を行うための手続きである。賛成多数で承認された。

II-6. 事務長の雇用期間について(資料 8、山本)

佐藤事務長の雇用期間について、就業規則第 28 条第 2 項の定めに従い、2023 年 3 月末まで延長することが提案され、賛成多数で承認された。

II-7. ウクライナ問題について(資料なし、山本)

現在ロシアからの侵攻を受けたウクライナに関する情勢について、会長声明を発出することが提案され、理事の意見に基づき文言を修正した。修正文案と声明の発出が賛成多数で承認された。本件を代議員総会でも報告する。

III. 報告

III-1. 移籍・退会等の報告 (資料 3、鈴木)

2021 年 12 月 22 日～2022 年 2 月 22 日までに正会員退会 0 名、準会員退会 6 名があったことが報告された。

III-2. PASJ 編集委員会からの報告 (資料 4、町田)

前回の改訂から 5 年が経過した「投稿の手引き」の改訂版を、近日中に公開予定であることが報告された。主な改訂箇所は、審査手続きに関する説明文の拡充と、特別企画提案から掲載までの手順と手続きの整理と明文化である。

III-3. 天文教育委員会からの報告 (資料 9、富田)

2022 年春季年会で予定されている天文教育フォーラム「天文教育普及における評価研究手法」について説明された。また、(i)講師紹介プログラムとして 2 件対応したことと、IAU OAE (教育のための天文学推進室) の天文教育コーディネーター (NAEC) 日本チームの活動状況が報告された。

III-4. 今後の年会進捗状況報告等 (資料なし、深沢、西、北本)

現在開催中の春季年会の公開講演会は完全オンライン開催となったことが報告された。2022 年秋季年会 (新潟大学) は、講演者は現地参加のみとし、聴講者は現地とオンラインの両方から行う (一部) ハイブリッド形式とする予定である。懇親会は開催の是非を含めて未定である。2023 年春季年会 (立教大学) は、2022 年の年会の状況を踏まえて今後決定する予定である。

III-5. 年会実行委員報告 (資料なし、古澤)

2023 年秋季年会の開催地が名古屋大学に決定したことが報告された。2022 年秋の年会の参加費は事前支払い制とすること、企画セッションの基調講演者が非会員の場合には、参加費を免除する方針であることが報告された。

III-6. 今後の年会開催方針タスクフォース (資料なし、太田)

今後、年会が現地開催に戻った時に、オンラインでも参加できるようにするための問題点の整理をするためのタスクフォースを設置した。6 月の代議員総会で結果を報告することを目指す。

III-7. ジュニアセッション報告（資料なし、山村）

ジュニアセッションが3月19日(土)に開催予定であることが、山村理事より報告された。

III-8. 事務所報告（佐藤良）：

特になし。

[資料リスト]

資料1 理事会出欠表

資料2 公益社団法人日本天文学会理事会（2021年12月25日）議事録（案）

資料3 加入者の承認、移籍の承認・報告、退会の報告

資料4 PASJ 編集委員会からの議題と報告

資料5 2022年度会費免除の実施の提案

資料6 名簿発行中止について

資料7 代議員総会議事運営申し合わせ（案）

資料8 事務長の雇用期間について

資料9 天文教育委員会より前回理事会(2021年12月25日)以降の活動報告(2022年2月20日現在)

2022年3月2日

会 長：山本 智 印

副会長：太田 耕司 印

副会長：久保田 あや 印

監 事：花岡 庸一郎 印